

# 三木町橋梁長寿命化修繕計画



令和 7年 12月

三木町役場 土木建設課

## 目 次

1. 長寿命化修繕計画の背景・目的 .....	1
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁 .....	3
3. 健全度の把握及び日常的な維持管理の基本方針 .....	3
4. 橋梁の状況 .....	4
5. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えにかかる費用の縮減に関する基本的な方針 .....	6
6. 対象橋梁ごとの修繕計画 .....	7
7. 長寿命化修繕計画策定による効果 .....	10
8. 意見をいただいた有識者 .....	11

## 1. 長寿命化修繕計画の背景・目的

### (1) 背景

三木町では、168 の橋梁（橋長 2m 以上）を管理しており、その多くが高度経済成長期以降に建設したものです。現在、建設後 50 年を経過する高齢化橋梁は 38 橋 (23%) ですが、10 年後には 112 橋 (67%)、20 年後には 147 橋 (88%)、30 年後には 159 橋 (95%) に達する見込みです。

これら高齢化橋梁が一斉に更新時期を迎えた場合、大きな財政負担を生じることになり、コスト縮減に向けた取組みが不可欠となっています。

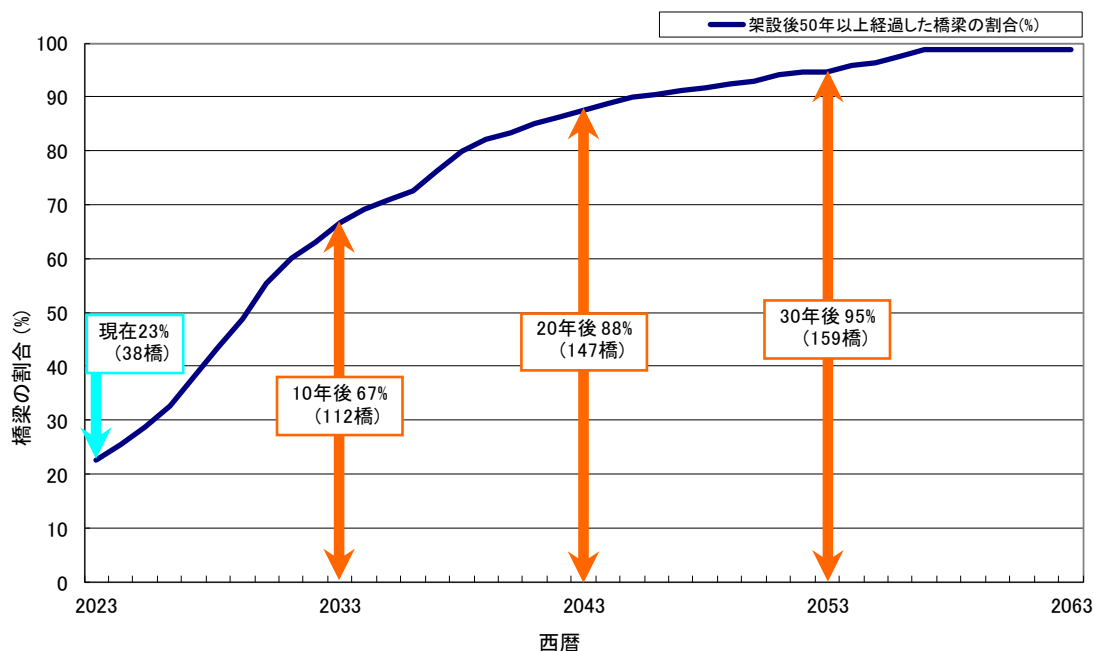


図 1-1 建設後 50 年以上経過する橋梁の推移

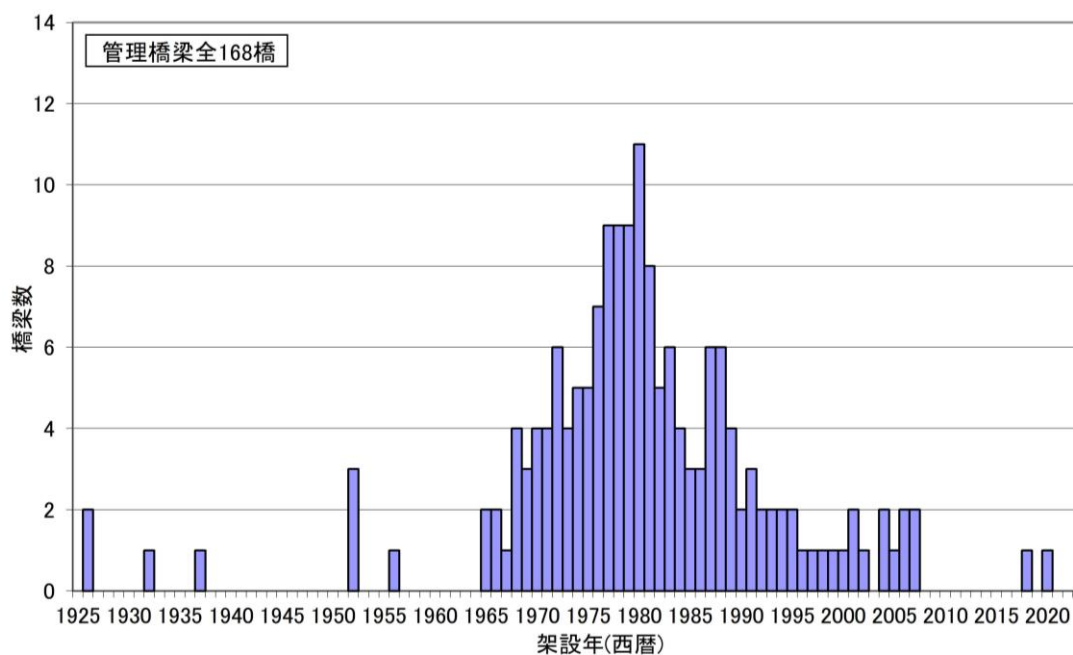


図 1-2 架設年次別の橋梁数の分布

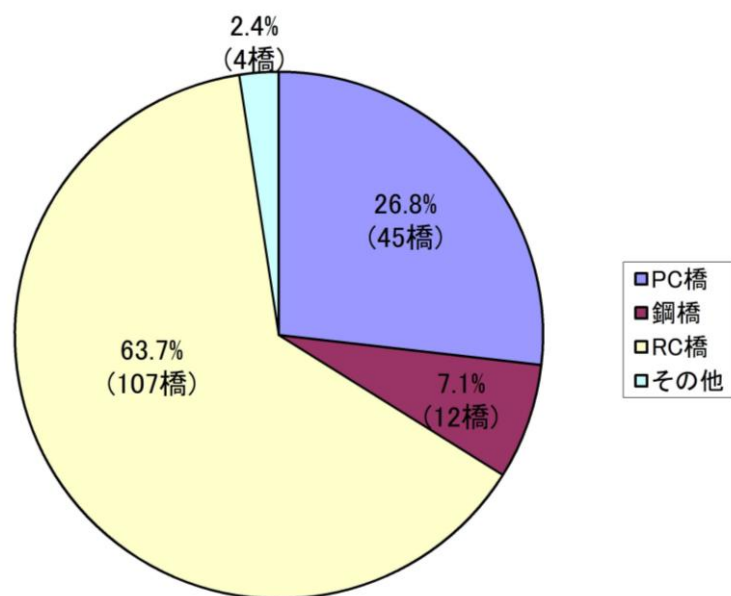


図 1-3 橋梁種別ごとの橋梁数の割合

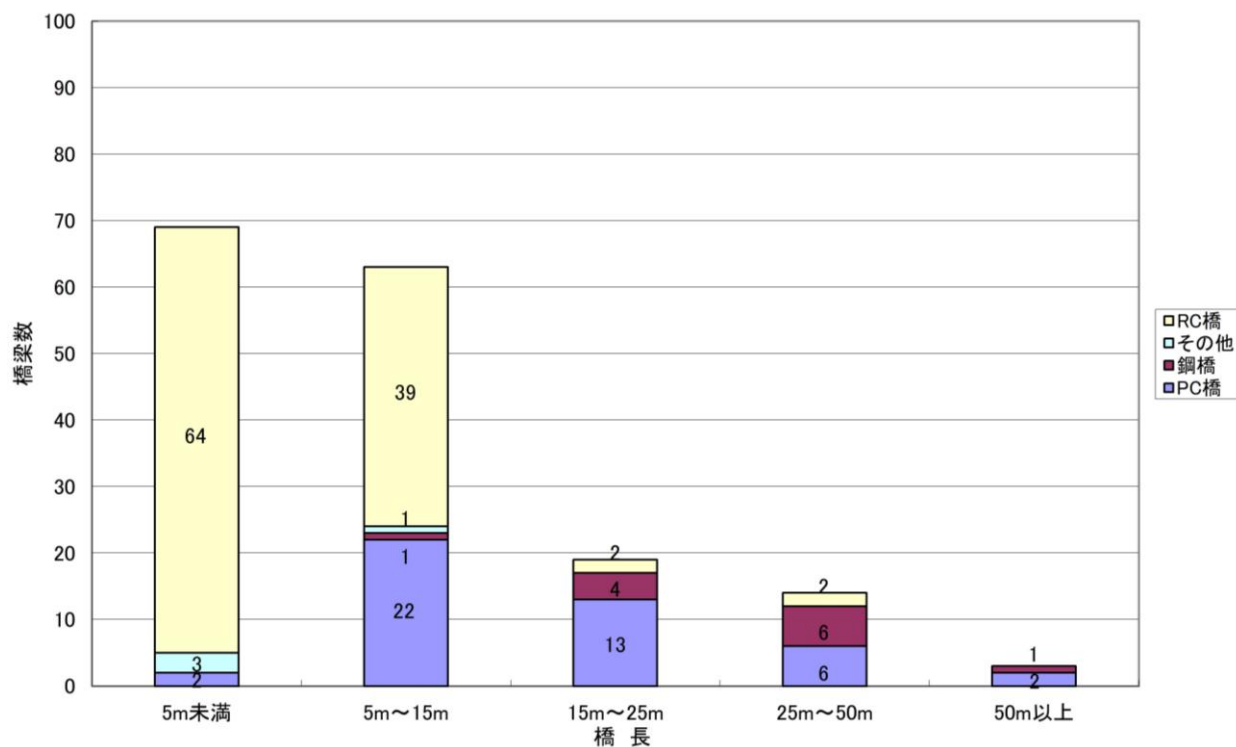


図 1-4 橋梁種別, 橋長ごとの橋梁数の分布

## (2) 目的

三木町では、道路交通の安全性を確保しつつ、コスト縮減を図るため、これまでの損傷が顕在化してから補修工事を実施する対症療法型な対応から、損傷が軽微なうちに計画的に対策を講じる予防保全型な対応により、橋梁を長寿命化させる方針に転換します。このため、各橋梁を計画的に維持管理するための「橋梁長寿命化修繕計画」を策定します。

## 2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

対象橋梁については、管理橋梁 168 橋を対象としました。

表 2-1 対象橋梁

道路橋		歩道橋		計
15m以上	15m未満	15m以上	15m未満	
35	130	1	2	168

## 3. 健全度の把握及び日常的な維持管理の基本方針

### (1) 定期点検の実施

健全度の把握については、香川県策定の「橋梁点検要領」、「橋梁点検マニュアル」に基づき、人間の健康診断と同様に定期的に実施し、橋梁の損傷を早期に把握することで、予防的で計画的な対応ができるようにします。

#### ① 点検頻度

5 年に 1 回の点検を基本とします。

通常パトロール時にも簡易的な点検・維持管理を行います。

#### ② 点検の内容

点検の実施は、各部位・部材に対し、近接目視を基本として、発生している損傷の種類や程度、範囲の確認を行います。

#### ③ 点検者

橋梁の延長や種別ごとの損傷特性に応じて、専門業者もしくは職員により実施します。



図 3-1 点検の様子

### (2) 日常的な維持管理の基本方針

損傷に対する補修・修繕だけではなく、日常の維持管理として、パトロールや清掃を行うことにより、橋梁を良好な状態に保ちます。

## 4. 橋梁の状況

### (1) 損傷基準

令和元～5年度に実施した2巡目橋梁定期点検は、以下の損傷基準により評価を行いました。

表 4-1 健全性の診断における判定区分

区 分	状 態	補修の必要性和時期
Ⅳ (緊急措置段階)	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態	発見後直ちに応急措置を行い、その後恒久的対応について速やかに検討を行う。
Ⅲ (早期措置段階)	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。	概ね5年(次回の定期点検)以内に補修を行う。
Ⅱ (予防保全段階)	構造物の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	次回点検まで経過観察。 予防保全的に補修を行うことが明らかに合理的である場合は補修可能。
Ⅰ (健全)	構造物の機能に支障が生じていない状態。	補修不要。

### (2) 点検結果の概要

三木町では、令和元～5年度に168橋の近接目視による2巡目橋梁定期点検を実施しました。

- ・ 緊急に措置を講ずべき状態（Ⅳ）の橋梁はありませんでした。
- ・ 早期（概ね次回点検までの5年間）に措置を講ずべき状態（Ⅲ）の橋梁は、1橋で、管理橋梁の1%でした。
- ・ 構造物の機能に支障が生じていない状態（ⅡまたはⅠ）の橋梁は、管理橋梁の99%でした。

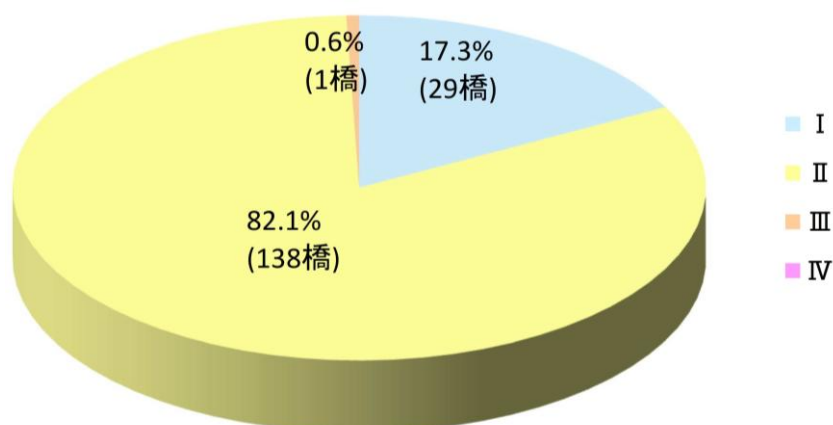


図 4-1 三木町における橋梁の健全性の割合





図 4-2 鋼橋の損傷状況



図 4-3 コンクリート橋の損傷状況

## 5. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えにかかる費用の縮減に関する基本的な方針

### (1) 目的

これまでの橋梁維持管理は、劣化が顕著化した時点でその都度、劣化状況に応じた修繕を行っており、そのような維持管理では60～75年の寿命といわれています。

それを早期に修繕を行う「予防保全型」に転換し、橋梁寿命を100年以上に長寿命化することで、予防保全による修繕費等は増加しますが、長期的な視野で橋梁の更新回数を少なくすることができ、修繕と更新(架替え)を合わせたライフサイクルコスト(LCC)の縮減を可能にします。

なお、施設の集約化・撤去、機能縮小については、社会経済情勢や施設の利用状況等の変更に応じ、施設の再配置計画を実施し、維持管理費用の縮減を図ります。

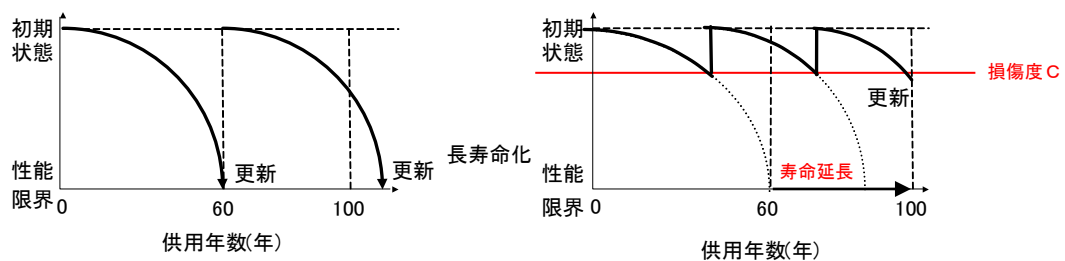


図 5-1 予防保全対策による長寿命化のイメージ

### (2) 最小 LCC の算定

2024 年から 50 年間を長期計画の期間と位置付け、今回計画対象の 168 橋について、維持管理費用が最も経済的となるようにします。

### (3) 予算の平準化

単に、各橋梁の LCC 最小化を図ると年度毎にばらつきが発生することから、1 年間の修繕にかかることが可能な予算を設定し、橋の損傷度や重要度を勘案し、実行可能な計画とするため、予算の平準化を行います。

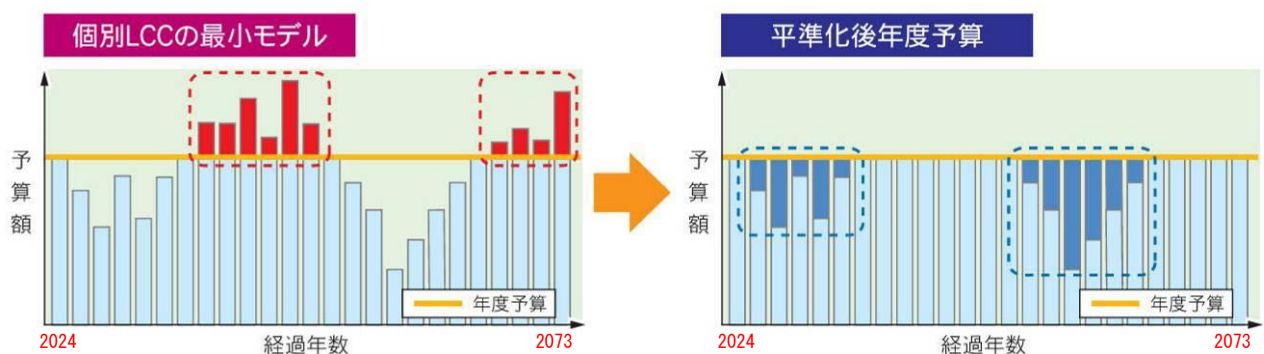


図 5-2 予算平準化のイメージ



#### (4) 新技術の活用方針

修繕計画における道路橋の法定点検や修繕の実施にあたっては、新技術情報提供システム（NETIS）や点検支援技術性能カタログ（案）などを参考に、新技術の活用を検討し、事業の効率化やコスト縮減を図ります。

## 6. 対象橋梁ごとの修繕計画

### (1) 基本的な考え方

基本的には、近接目視による定期点検の健全性診断の判定区分に基づき、補修等を実施します。

- ・健全度Ⅳの場合には、発見後ただちに応急措置を行い、その後、恒久的対応（撤去・修繕架替等）について速やかに検討を行います。
- ・健全度Ⅲの場合には、構造物の機能に支障が生じる可能性がある状態であるため、損傷が進行し大規模な修繕が必要となる前に、早期（次回の定期点検までの概ね5年間）に、補修等の措置を行います。
- ・健全度Ⅱの場合には、当面は次回の定期点検までは経過観察とします。ただし、予防保全的に補修を行うことが明らかに合理的な場合には、健全度Ⅱの状態のうちに補修を行う場合があります。

なお、今後橋梁の老朽化対策（長寿命化）が進み、健全度Ⅲの橋梁が解消された以降には、以下の方針で、健全度Ⅱの橋梁の措置（修繕）を進め、さらなる予防保全に努めることとします。

表 6-1 橋梁の修繕優先度の要因

・管理区分	→三木町で定める対応区分（次ページ参照）
・部材の損傷状況	→主桁、床版等の主部材の損傷の著しい橋梁の修繕を優先
・橋長	→橋長の長いものを優先
・バス路線	→バス路線に指定された路線の橋梁を優先
・道路幅員	→2車線以上の路線の橋梁を優先
・道路規格	→1級町道に指定された路線の橋梁を優先

## (2) 橋梁の対応区分

修繕計画の策定に当たっては、小規模な橋梁から大規模な橋梁、跨線橋、跨道橋など多様な橋梁を全て同様な条件で維持することは合理的ではないことから、以下のとおり、対応することとします。

表 6-2 予算平準化時の対応区分表

対応区分	平準化時の対応方法	適 用	箇所数	橋面積 (m <sup>2</sup> )
①予防維持 管理対応	予算に制約がある場合、修繕優先度が上位のものから修繕を行う。 修繕優先度が低い橋梁は、修繕遅れを許すが、修繕遅れによる架け替えは許さない。	③を除く橋梁で、橋長15.0m以上の橋梁	35 橋 (20.8 %)	5,500.4 (59.0 %)
②事後維持 管理対応	予算に制約がある場合、修繕優先度が上位のものから修繕を行う。 修繕優先度が低い橋梁は、修繕遅れを許し、修繕遅れによる架け替えも許す。	①、③を除く橋梁で、橋長15.0m未満の橋梁	130 橋 (77.4 %)	3,724.0 (39.9 %)
③観察維持 管理対応	架け替え費用・本線道路橋に伴う歩道橋の修繕費用を計上し、修繕費用は計上しない橋梁で、平準化には関与させない。	1, 架け替えが決まっている橋梁 2, 古い橋梁で修繕より架け替えが妥当と考えられる橋梁 3, 迂回路が近接してあるなど緊急対応が可能な橋梁 4, 歩道橋	3 橋 (1.8 %)	105.5 (1.1 %)

注) ( )内数値は、三木町全橋梁に対する割合を示す。

橋梁の修繕の順位付けは、対応区分を優先的に考慮しますが、同じ対応区分の橋梁については、①路線状況など以下に示す要因を点数化したものと、②損傷状況(表 4-1 健全性の診断における判定区分)を点数化したものの両方を踏まえて修繕の順位付けを行います。

## (3) 長期計画 (50 年間)

現時点から 50 年間について、最小 LCC や予算の平準化の検討を踏まえて、最も実現性があり費用の縮減に効果的である、全橋の修繕、更新計画を、長期計画として策定します。

## (4) 中期計画 (10 年間)

長期計画の直近 10 年間について、定期点検の結果等より、修繕内容・時期又は架替え時期の検討を行い、実効性と精度を上げた中期計画を策定します。

【様式 1-2】 参照

(5) 橋梁点検・修繕の計画

長寿命化修繕計画の対象橋梁は、橋梁の健全度の把握を香川県策定の「橋梁点検要領」、「橋梁点検マニュアル」に準拠して5年に一度行います。

令和6年度以降に定期点検を実施する全ての橋梁において、新技術活用を検討を行い、費用縮減や効率化が見込める橋梁については積極的に新技術を活用し行います。

長寿命化修繕計画により修繕を行う橋梁については、「補修・補強マニュアル(香川県土木部)」等により修繕計画を行います。

修繕工法選定の際には従来工法だけではなく、NETIS等に登録されている新工法・新材料について費用対効果及びLCCの縮減が可能であるか等の比較検討を実施し積極的に選定します。

## 7. 長寿命化修繕計画策定による効果

本町では、168 橋について、今後 50 年間に必要とされる維持管理費を予測し、長寿命化修繕計画（案）を策定しました。

その結果、予防保全型の修繕は実施せずに損傷が顕著になった段階で架け替えとした場合と、予防保全型の修繕により対応した場合を比較すると、前者の事業費は約 45 億円であるのに対し、後者は約 8 億円となり、当初は費用がかかるものの、長期的に見れば、修繕費の大幅な縮減（約 37 億円）が見込まれています。

また、令和 10 年度までに、道路改良工事の計画があり撤去が可能と考えられる橋梁について 2 橋程度の撤去することで、令和 10 年度までの維持管理に係る点検の費用を約 100 万円程度縮減することを目標とします。

修繕を実施する橋梁のうち 5 割程度の橋梁について新技術（新工法・新材料）を活用し、令和 10 年度までの修繕費用を約 50 万円程度縮減することを目指します。

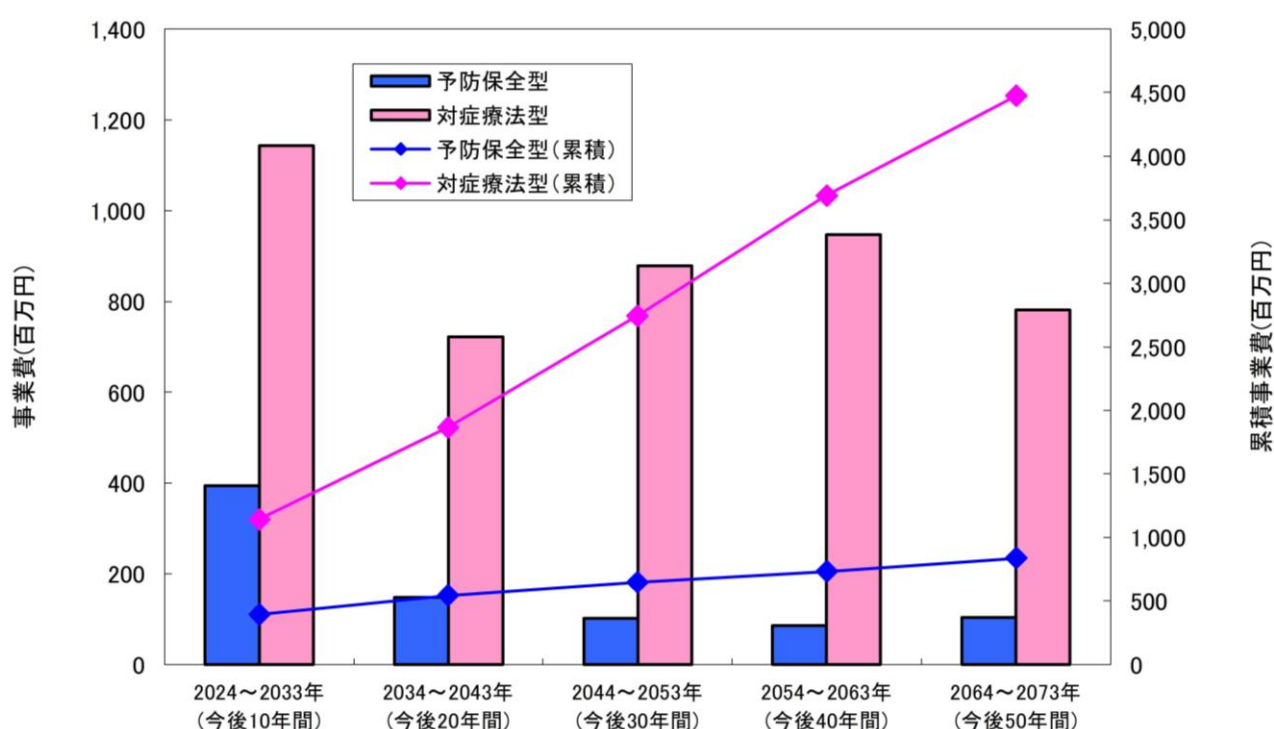


図 7-1 ライフサイクルコストの縮減効果（168 橋の計算結果）

なお、上記の費用は、今後点検や修繕を実施していく過程で見直す可能性があることから固定されるものではありません。

また、予防保全型の予算条件は年間約 4000 万円であり、この予算が確保できない場合の事業費は、対症療法型の曲線に近づくことになります。

## 8. 意見をいただいた有識者

計画策定を進めていく体制について、以下の検討会を立ち上げ、有識者から意見を聴取しました。

- 検討会名  
三木町橋梁長寿命化修繕計画策定検討会
- 有識者  
香川高等専門学校 建設環境工学科 林和彦 准教授

【様式 1-2】

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

今回の点検や修繕および更新の機会を据えた機能転換・用途変更、集約化・撤去等の必要な対策について、講ずる措置の内容や実施予定時期を施設毎に整理する必要があるため、今後10年間の修繕計画を立案しました。

点検・修繕を実施する際には新技術の活用検討を行いコスト削減を目標とします。また、道路改良工事の計画があり撤去が可能と考えられる橋梁について令和10年度までに2橋程度の撤去を検討します。

凡例：←→ 対策を実施すべき時期を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	対策の内容・時期										概算事業費(千円)	健全度
							R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
無名橋	町道	鍋淵西浦谷線	2.4	1965	58	R2		点検			←→	橋台：ひび割れ注入	点検				783	II
香蓮寺橋	町道	川西香蓮寺線	8.2	1989	34	R2	←→	点検	主部材：ひび割れ注入	断面修復等			点検				2,016	II
川東西橋	町道	川東医大線	19.7	2004	19	R2		点検					点検				510	I
男井間東橋	町道	川東医大線	9.0	1982	41	R2	←→	点検	主部材：断面修復	炭素繊維シート接着等			点検				14,048	II
男井間西橋	町道	川東医大線	9.0	1982	41	R2	←→	点検	主部材：断面修復	炭素繊維シート接着等			点検				12,037	II
鹿伏橋	町道	鹿伏南地線	5.8	1966	57	R3		点検						点検			510	II
無名橋024	町道	鹿伏南地線	7.7	1967	56	R2		点検		←→	主部材：ひび割れ注入	断面修復等	点検				1,263	II
無名橋016	町道	鹿伏南地線	3.1	1968	55	R2		点検					点検				510	II
高尾橋	町道	高野医大線	55.0	1982	41	R3		点検				←→	床版：上面増厚等	←→			48,525	II
無名橋013	町道	天神宮ノ前線	2.0	1969	54	R2		点検					点検				510	I
無名橋015	町道	農大線	2.1	1970	53	R1	点検			←→	主部材：ひび割れ注入等						654	II
大塚橋	町道	池戸田中線	3.0	1971	52	R3		点検						点検			510	II
西地橋	町道	池戸田中線	12.4	1972	51	R3		点検	点検	←→	床版：上面増厚			点検			6,509	II
砂古橋	町道	池戸田中線	6.1	1973	50	R3		点検						点検			510	II
氷上橋	町道	花丸寺ノ前線	36.9	2020	3	R5					点検					点検	510	II
藤田上橋	町道	北地線	6.2	1997	26	R1	点検					点検					510	II
山大寺北橋	町道	三条鹿庭線	14.8	1984	39	R3			点検					点検			510	II
出水橋	町道	三条鹿庭線	26.4	2004	19	R3			点検					点検			510	II
西鹿庭橋	町道	三条鹿庭線	7.0	1974	49	R3			点検					点検			510	II
西鹿庭橋	町道	三条鹿庭線	17.6	2005	18	R3			点検					点検	←→		1,003	II
無名橋060	町道	三条鹿庭線	3.0	1975	48	R1	点検					点検			主部材：ひび割れ注入		510	II
平松橋	町道	三条鹿田線	38.0	1975	48	R3			点検	←→	橋脚：ひび割れ注入			点検			586	II
藤田下橋	町道	南地線	11.8	1998	25	R2		点検					点検				510	I
無名1号橋	町道	池戸井戸線	3.6	1952	71	R2		点検		←→	主部材：断面修復	炭素繊維シート接着	点検				2,665	II
無名2号橋	町道	池戸井戸線	2.4	1952	71	R2		点検					点検				510	I
無名3号橋	町道	池戸井戸線	3.1	1952	71	R3			点検					点検	←→	主部材：断面修復等	5,588	II
平木橋	町道	池戸井戸線	47.3	1937	86	R4				点検				点検			510	II
平木歩道橋	町道	池戸井戸線	28.4	1969	54	R4				点検					点検		510	II
白山新橋	町道	白山東線	6.4	1973	50	R3			点検					点検			510	I
上白山橋	町道	白山東線	17.8	1974	49	R3			点検					点検			510	I
無名橋055	町道	静業師線	2.0	1977	46	R3			点検					点検			510	I
無名橋012	町道	鍋淵四角寺線	4.4	1978	45	R3			点検					点検			510	II
上新川橋	町道	上新川橋線	50.6	1990	33	R2		点検			←→	橋脚：ひび割れ注入等	点検				2,332	II
無名橋031	町道	鹿伏線	5.6	1978	45	R1	点検					点検					510	I
無名橋028	町道	川西山田線	2.9	1979	44	R2		点検	←→	主部材：断面修復等			点検				1,474	II
無名橋027	町道	川西山田線	2.9	1979	44	R2		点検					点検	←→	主部材：ひび割れ注入等		812	II
無名橋026	町道	川西山田線	2.0	1980	43	R2		点検			←→	橋台：ひび割れ注入等	点検				624	II
無名橋042	町道	中免天枝線	2.3	1980	43	R1	点検					点検					510	II
無名橋041	町道	中免天枝線	2.7	1981	42	R3		点検	←→	主部材：断面修復	炭素繊維シート接着等			点検			1,231	II
無名橋040	町道	中免天枝線	2.2	1982	41	R1	点検					点検					510	II
角池橋	町道	中免天枝線	4.0	1983	40	R3			点検					点検	←→	主部材：断面修復等	4,208	II
天枝橋	町道	中免天枝線	23.0	1978	45	R3			点検	←→	床版：上面増厚等			点検			11,228	II
高原橋	町道	氷上高原線	10.5	1984	39	R3			点検					点検	←→	主部材：断面修復等	4,248	II



今回の点検や修繕および更新の機会を据えた機能転換・用途変更、集約化・撤去等の必要な対策について、講ずる措置の内容や実施予定時期を施設毎に整理する必要があるため、今後10年間の修繕計画を立案しました。  
点検・修繕を実施する際には新技術の活用検討を行いコスト削減を目標とします。また、道路改良工事の計画があり撤去が可能と考えられる橋梁について令和10年度までに2橋程度の撤去を検討します。

凡例：←→ 対策を実施すべき時期を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	対策の内容・時期										概算 事業費 (千円)	健全度
							R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
中川橋	町道	氷上高原線	36.9	1972	51	R3		点検						点検			31,819	Ⅱ
無名橋048	町道	重元三条線	2.5	1987	36	R3		床版:上面増厚等	点検					点検			510	I
熊川橋	町道	重元三条線	4.3	1985	38	R1	点検					点検					510	Ⅱ
鍛冶屋橋	町道	重元三条線	13.5	1986	37	R3			点検					点検	主部材:断面修復等		5,316	Ⅱ
平野橋	町道	西ノ山西線	3.4	1988	35	R3			点検					点検	主部材:ひび割れ注入等		891	Ⅱ
蛇ノ角橋	町道	丸岡永代谷線	8.9	1976	47	R1	点検				点検						3,856	Ⅱ
国体記念大橋	町道	丸岡永代谷線	18.3	1993	30	R3			点検					点検			510	Ⅱ
無名橋053	町道	高木別所線	2.6	1989	34	R1	点検			主部材:断面修復等	点検						1,393	Ⅱ
無名橋070	町道	乃生中連線	6.5	1990	33	R3			点検					点検	橋台:RC巻立て等		1,271	Ⅱ
北滝橋	町道	乃生中連線	4.8	1991	32	R3			点検					点検			510	Ⅱ
無名橋065	町道	乃生中連線	2.6	1992	31	R1	点検					点検					510	Ⅱ
無名橋064	町道	乃生中連線	2.0	1987	36	R1	点検					点検					510	Ⅱ
無名橋063	町道	乃生中連線	5.5	1994	29	R3			点検					点検	主部材:断面修復等		2,104	Ⅱ
弓取橋	町道	乃生中連線	5.9	1995	28	R3			点検					点検			510	Ⅱ
小滝橋	町道	津柳下線	2.0	1968	55	R1	点検					点検					510	I
境橋	町道	津柳下線	6.0	1969	54	R4											510	Ⅱ
無名橋002	町道	風呂谷線	4.8	1970	53	R1	点検				点検						640	Ⅱ
無名橋001	町道	風呂谷線	7.0	1971	52	R2		点検									510	Ⅱ
無名橋009	町道	大宮西浦谷線	5.7	1972	51	R3			点検					点検	主部材:断面修復等		3,329	Ⅱ
無名橋008	町道	大宮西浦谷線	2.4	1973	50	R2		点検						点検			510	I
無名橋006	町道	西浦谷東線	2.8	1974	49	R1	点検			主部材:断面修復等		点検					2,790	Ⅱ
尾崎上橋	町道	尾崎川西線	19.6	2000	23	R2		点検					点検				510	Ⅱ
川西橋	町道	井上川西線	19.6	2001	22	R2		点検					点検				510	Ⅱ
無名橋014	町道	柳町荒木線	2.4	1975	48	R2		点検			橋台:ひび割れ注入等		点検				663	Ⅱ
荒木橋	町道	上池荒木線	50.3	1995	28	R2		点検			主部材:ひび割れ注入等		点検				4,617	Ⅱ
平木橋	町道	池戸平木線	35.5	1970	53	R3		点検	床版:上面増厚等					点検			14,291	Ⅱ
無名橋020	町道	農大西線	3.0	1976	47	R2		点検					点検				510	Ⅱ
砂橋	町道	菱子線	44.8	1971	52	R3				点検				点検			16,425	Ⅱ
平尾橋	町道	平尾烏打線	4.1	1977	46	R2		点検					点検				510	I
無名橋017	町道	平尾烏打線	3.4	1978	45	R1	点検					点検					510	Ⅱ
無名橋018	町道	平尾烏打線	2.2	1978	45	R1	点検					点検					510	Ⅱ
無名橋	町道	烏打西線	2.0	1979	44	R2		点検					点検				510	I
無名橋	町道	烏打西線	2.3	1979	44	R2		点検					点検				510	I
無名橋025	町道	烏打東線	2.5	1980	43	R1	点検					点検					510	I
無名橋038	町道	白山南山田線	5.1	1980	43	R2		点検		主部材:断面修復等		点検					2,000	Ⅱ
無名橋039	町道	猪ノ山線	2.7	1981	42	R1		点検									510	Ⅱ
無名橋032	町道	猪ノ山線	4.6	1982	41	R2		点検				橋台:RC巻立て等	点検				1,478	Ⅱ
無名橋029	町道	山田川西線	3.1	1983	40	R1	点検						点検				510	Ⅱ
無名橋019	町道	井戸川西線	3.2	1984	39	R2		点検					点検		主部材:断面修復等		1,806	Ⅱ
柳原橋	町道	氷上田中線	24.3	1972	51	R3			点検					点検	床版:上面増厚等		24,494	Ⅱ
無名橋034	町道	氷上田中線	2.0	1985	38	R1	点検					点検					510	I
無名橋033	町道	氷上田中線	4.3	1986	37	R2		点検					点検				510	Ⅱ
蓮成寺橋	町道	蓮成寺線	32.9	2001	22	R3			点検				橋台:RC巻立て等	点検			3,287	Ⅱ
無名橋043	町道	中川福万線	5.5	1989	34	R1	点検					点検					510	I
中橋	町道	中線	28.5	1972	51	R3			点検			床版:上面増厚等		点検			12,765	Ⅱ

今回の点検や修繕および更新の機会を据えた機能転換・用途変更、集約化・撤去等の必要な対策について、講ずる措置の内容や実施予定時期を施設毎に整理する必要があるため、今後10年間の修繕計画を立案しました。  
点検・修繕を実施する際には新技術の活用検討を行いコスト削減を目標とします。また、道路改良工事の計画があり撤去が可能と考えられる橋梁について令和10年度までに2橋程度の撤去を検討します。

凡例：←→ 対策を実施すべき時期を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	対策の内容・時期										概算事業費(千円)	健全度
							R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
地獄橋	町道	砂古十河線	4.2	1988	35	R3			点検					点検			510	II
西谷橋	町道	西谷線	4.1	1989	34	R1	点検					点検					510	II
無名橋047	町道	西谷線	2.0	1991	32	R3			点検					点検	←→	主部材：断面修復等	2,907	II
重元橋	町道	上氷上線	21.1	2006	17	R3			点検					点検			510	I
正一橋	町道	正一鍛冶線	11.7	1971	52	R3			←→	主部材：断面修復、炭素繊維シート接着等				点検			7,458	II
正一橋	町道	正一鍛冶線	10.6	1992	31	R3			点検					点検			510	I
鍛冶大橋	町道	正一鍛冶線	34.9	1970	53	R3			点検					点検	←→	床版：下面増厚等	21,390	II
埴橋	町道	四条鍛冶線	19.8	1977	46	R4				点検					点検		510	II
鰐河橋	町道	三条四条線	27.4	1968	55	R3			点検	←→	主部材：断面修復等			点検			11,955	II
中屋橋	町道	原北中屋線	9.9	1972	51	R3			点検					点検			510	II
中屋橋	町道	原北中屋線	9.3	1981	42	R3	←→	主部材：ひび割れ注入、断面修復等	点検					点検			1,775	II
長井橋	町道	原北線	9.9	1974	49	R4				点検					点検		510	II
白山大橋	町道	白山線	25.6	1976	47	R4				点検					点検		510	II
無名橋037	町道	白山線	9.5	1975	48	R4				点検					点検		510	II
無名橋044	町道	南真行寺二条線	5.3	1976	47	R4				点検					点検		510	II
無名橋045	町道	中井戸塚原線	5.9	1977	46	R3			点検					点検			510	II
無名橋046	町道	中井戸塚原線	2.4	1978	45	R3			点検					点検			510	II
無名橋054	町道	石塚宮尾線	2.9	1978	45	R3			点検					点検			510	I
無名橋057	町道	上宮尾線	3.6	1979	44	R3			点検					点検			510	I
丸岡橋	町道	川原石塚線	20.2	1979	44	R3			点検					点検			510	II
川丸橋	町道	川原石塚線	31.1	1976	47	R3			点検					点検			510	I
三条橋	町道	丸岡奥ノ堂線	2.1	1980	43	R4				点検					点検		510	I
無名橋052	町道	諏訪長楽寺線	13.5	1980	43	R5					点検					点検	510	II
無名橋051	町道	諏訪長楽寺線	6.4	1981	42	R5					点検					点検	510	II
無名橋050	町道	岳青岸線	5.1	1983	40	R3			点検			←→	橋台：ひび割れ注入等	点検			673	II
西ノ土居橋	町道	高原井西ノ土居線	16.0	1956	67	R4				点検					点検		510	II
真田橋	町道	高木南線	22.4	1977	46	R3			点検				←→	点検		床版：上面増厚等	10,232	II
無名橋058	町道	別所線	2.4	1985	38	R4				点検					点検		510	I
無名橋059	町道	天満線	2.0	1986	37	R4				点検					点検		510	II
天満橋	町道	天満線	17.6	1981	42	R3			点検					点検	←→	主部材：断面修復等	6,212	II
出作橋	町道	鴻ノ池南線	17.5	2007	16	R5					点検					点検	510	I
無名橋063	町道	左直線	2.0	1988	35	R1	点検					点検					510	II
無名橋064	町道	左直線	2.0	1991	32	R1	点検					点検					510	II
無名橋067	町道	左直線	2.0	1988	35	R1	点検					点検					510	I
上蓮橋	町道	上連東線	13.1	1996	27	R5					点検					点検	510	II
東鹿庭橋	町道	上連東線	10.3	1999	24	R5					点検					点検	510	II
無名橋071	町道	三番花折線	4.8	1968	55	R5					点検					点検	510	I
無名橋072	町道	三番花折線	5.0	1973	50	R5					点検					点検	510	II
大谷橋	町道	竹尾線	8.8	1974	49	R5					点検					点検	510	II
無名橋061	町道	竹尾線	7.5	2006	17	R5					点検					点検	510	II
無名橋062	町道	竹尾線	2.0	1975	48	R1	点検					点検					510	II
無名橋066	町道	竹尾線	7.1	1976	47	R5					点検					点検	510	II
落合上橋	町道	小川下線	6.2	1977	46	R1	点検					点検					510	II
小川下橋	町道	小川下線	6.7	1987	36	R1	点検					点検	←→	主部材：断面修復等			3,110	II
無名橋068	町道	大畑線	9.7	1978	45	R1	点検					点検					510	II



次回の点検や修繕および更新の機会を据えた機能転換・用途変更、集約化・撤去等の必要な対策について、講ずる措置の内容や実施予定時期を施設毎に整理する必要があるため、今後10年間の修繕計画を立案しました。  
点検・修繕を実施する際には新技術の活用検討を行いコスト縮減を目標とします。また、道路改良工事の計画があり撤去が可能と考えられる橋梁について令和10年度までに2橋程度の撤去を検討します。

凡例：←→ 対策を実施すべき時期を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	対策の内容・時期										概算事業費(千円)	健全度
							R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
澁の口	町道	大畑西線	7.1	1978	45	R5					点検					点検	510	II
無名橋069	町道	二ノ坂線	3.0	1932	91	R5					点検					点検	510	II
青木谷橋	町道	二ノ坂線	6.5	1979	44	R5					点検					点検	510	II
二ノ坂橋	町道	二ノ坂線	4.9	1979	44	R5					点検					点検	510	II
無名橋074	町道	神山井戸線	2.4	1980	43	R1	点検					点検					510	II
無名橋075	町道	神山井戸線	3.0	1981	42	R5					点検					点検	510	II
津柳中央橋	町道	広野津柳線	7.0	1984	39	R5					点検					点検	510	II
虹ノ滝橋	町道	虹ノ滝線	17.0	1965	58	R5					点検					点検	510	II
無名橋078	町道	下所津柳線	4.1	1983	40	R5					点検					点検	510	II
虹ノ滝橋	町道	小葦下所線	13.5	1988	35	R5					点検					点検	510	II
津柳橋	町道	小葦下所北線	12.7	1926	97	R5	設計・主部材：ひび割れ注入、断面修復等										2,397	III
奥山橋	町道	長谷線	7.2	1976	47	R3			点検					点検			510	II
寒国橋	町道	高野大宮線	19.3	1993	30	R5				点検					点検		510	II
草田橋	町道	宮ノ浦男井間線	21.0	1994	29	R3			点検					点検			510	II
無名橋021	町道	高野線	5.2	1987	36	R2		点検					点検				510	II
無名橋022	町道	高野線	2.5	1987	36	R1	点検					点検					510	II
無名橋023	町道	住吉高野線	7.7	1981	42	R2		点検				←→	点検				2,618	II
無名橋076	町道	菊谷線	9.7	1977	46	R5					点検					点検	510	II
唐戸橋	町道	三条鹿庭線	13.5	1979	44	R5					点検					点検	510	II
山大寺橋	町道	三条鹿庭線	7.4	1979	44	R3			点検					点検			510	II
壱目橋	町道	三条鹿庭線	10.8	1987	36	R5				点検					点検		510	II
無名橋035	町道	柳原天枝線	14.0	1980	43	R3			点検					点検			510	II
八戸谷橋	町道	原北塚脇線	7.2	1978	45	R3			点検					点検			510	I
江村橋	町道	原北塚脇線	6.0	1980	43	R3			点検		←→	点検			点検		1,822	II
無名橋030	町道	砂入西地線	13.5	1981	42	R3			点検						点検		510	II
鍛冶川橋	町道	三条長楽寺線	9.8	1926	97	R3			点検						点検		510	II
永上小橋	町道	三条長楽寺線	3.2	1983	40	R3			点検						点検		510	II
熊川橋	町道	三条長楽寺線	7.4	1988	35	R3			点検						点検		510	II
無名橋049	町道	三条長楽寺線	2.2	1977	46	R1	点検				←→	点検					1,636	II
無名橋005	町道	馬場中谷線	2.0	1980	43	R3			点検					点検			510	II
無名橋003	町道	馬場中谷線	3.6	1980	43	R1	点検				←→	点検					1,536	II
無名橋056	町道	別所上所線	4.5	1983	40	R1	点検				←→	点検					3,383	II
出作橋	町道	別所上所線	3.2	1966	57	R1	点検				←→	点検					1,613	II
鹿庭橋	町道	別所上所線	13.8	2002	21	R5					点検					点検	510	II
観音橋	町道	川東川西線	16.9	2007	16	R2		点検						点検			510	I
合 計 (百万円)							37	39	39	40	40	40	40	40	40	40		